

第175回拡大地方委員会

国労水戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 久保田重明
編集責任者 坂下 司

仲間の声をつかもう

3月7日、第175回拡大地方委員会がい
わき労働福祉会館で行われた。

泉執行委員の司会で始まり、資格審査より
委員会が成立したことを報告した。議長に水
戸地区分会の皆川委員が選出され、討論には
5名の委員から発言があった。

20春闘をはじめ、当面の闘う方針が確立
した。

増副委員長か
ら3月14日に常
磐線全線開通に
向け交渉を行っ
てきた。今後も
健康、安全問題
に取り組んでい
く。
組織強化・拡
大について労働
組合の必要性。
安全輸送につい



増副委員長

一人で職ます
国労へ相談。
みんなを楽しく
がんばろう！職

て労働条件の改善。職場か
らの取り組みから20春闘
を、政治的な課題について
挨拶した。

国労東日本本部、渡邊副
委員長から、20春闘につ
いて、賃上げや新規採用者
の初任給の格差、第2基本
給の廃止を求めている。

組合の必要性では、会社
から個人個人に今以上の努
力が必要と言われることで
競争へとつながる。

エルダー社員の希望地、
職種に丁寧な説明を本社に
通じて改善させていくと挨拶
した。

各委員から、エルダー社
員の賃金格差があり、機械
化、OA化で働かされ仕事
についていけない。

職場のほとんどが社友会
に入っている。過半数代表
選では若手社員との交流を
取り組んでいる。

エルダー社員が年々多く



皆川委員

なっている。本体職場に国
労が少数である。

常磐線全線運転再開へ強
風など遅延が多くなる。お
客からの苦情が多くなる。

社員代表選では昨年、代
表になり執行委員会などで
皆と学びあった。組織拡大
は今しかできない、対話行
動を実践していく。

駅周辺は除染されている
が境目は線量が高い。野生



第175回国労水戸拡大地方委員会

動物が多く、始末するため
の作業が多い。新採者と食
事をし、労働組合の話をし
てきた。

赤沼書記長から春闘につ
いて、エルダー賃金の底上
げや雇用先はJRとして責
任を持たせる。常磐線全線
開通に向け不安解消、組織
強化拡大、職場の問題につ
いて現場で声を上げようと
集約した。

来賓紹介

全交通共済
アベニール株式会社

松井 正義
菊池 忠志